

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年6月26日 (2014.6.26)

【公表番号】特表2011-521986(P2011-521986A)

【公表日】平成23年7月28日 (2011.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2011-030

【出願番号】特願2011-512021(P2011-512021)

【国際特許分類】

C 0 7 D 213/64 (2006.01)

C 0 7 D 405/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/4412 (2006.01)

A 6 1 K 31/4433 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/08 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 1/18 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/10 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 213/64 C S P

C 0 7 D 405/04

A 6 1 K 31/4412

A 6 1 K 31/4433

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 13/08

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 1/18

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 13/10

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 17/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年5月2日 (2014.5.2)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 6 5 】

好ましくは、 $R^4 \sim R^{13}$ の少なくとも2つがOHである。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

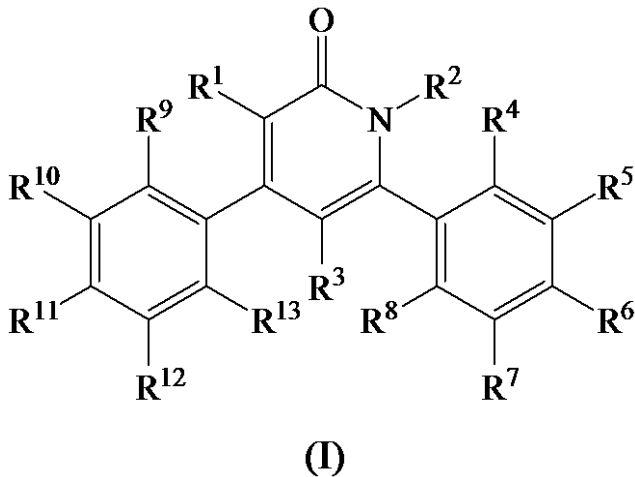
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式I：

【化1】



[式中、

$R^1$ 、 $R^2$ および $R^3$ は独立にHまたは $C_{1-6}$ アルキルであり；

$R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$ および $R^8$ は独立に、H、ハロ、 $C_{1-6}$ アルキルまたは - O -  $C_{1-6}$ アルキルであって、少なくとも1つが - O -  $C_{1-6}$ アルキルであるか；または環上で互いに隣り合った $R^4 \sim R^8$ のペアの少なくとも1つが一緒になって - O - ( $CR^{14}R^{15}$ )<sub>n</sub> - O - を形成し、ここでnは1または2であり、 $R^{14}$ および $R^{15}$ は独立にHまたは $C_{1-6}$ アルキルであり、 $R^4 \sim R^8$ の残りの基は独立にH、ハロ、 $C_{1-6}$ アルキルまたは - O -  $C_{1-6}$ アルキルであり；および

$R^9$ 、 $R^{10}$ 、 $R^{11}$ 、 $R^{12}$ および $R^{13}$ は独立にH、ハロ、 $C_{1-6}$ アルキルまたは - O -  $C_{1-6}$ アルキルであって、少なくとも1つが - O -  $C_{1-6}$ アルキルであるか；または環上で互いに隣り合った $R^9 \sim R^{13}$ のペアの少なくとも1つが一緒になって - O - ( $CR^{16}R^{17}$ )<sub>m</sub> - O - を形成し、ここでmは1または2であり、 $R^{16}$ および $R^{17}$ は独立にHまたは $C_{1-6}$ アルキルであり、 $R^9 \sim R^{13}$ の残りの基は独立にH、ハロ、 $C_{1-6}$ アルキルまたは - O -  $C_{1-6}$ アルキルであり；

但し、 $R^6$ および $R^{11}$ の両方が - OMe であることはない]

で示される化合物またはその製薬的に許容し得る塩またはその溶媒和物。

【請求項2】

$R^9$ 、 $R^{12}$ および $R^{13}$ が独立にH、ハロまたは $C_{1-6}$ アルキルであり、 $R^{10}$ および $R^{11}$ が一緒になって - O - C( $R^{16}R^{17}$ )<sub>m</sub> - O - を形成し、mが1である、請求項1記載の化合物。

【請求項3】

$R^9$ 、 $R^{12}$ および $R^{13}$ がHである請求項2記載の化合物。

【請求項4】

$R^{16}$ および $R^{17}$ の両方がHである請求項2または3記載の化合物。

【請求項5】

$R^9 \sim R^{13}$ の1つが - O -  $R^{18}$ であり、 $R^{18}$ は $C_{1-6}$ アルキルであり、残りの基は独立に

H、ハロまたは  $C_{1-6}$  アルキルである、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 6】

$R^{10} \sim R^{12}$  の 1 つが  $-O-R^{18}$  である請求項 5 記載の化合物。

【請求項 7】

$R^{18}$  が、 $C_{1-4}$  アルキルである、請求項 5 または 6 に記載の化合物。

【請求項 8】

$R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$  および  $R^8$  の少なくとも 2 つが  $-O-C_{1-6}$  アルキルである請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の化合物。

【請求項 9】

$R^4$  および  $R^6$  または  $R^5$  および  $R^6$  が  $-O-R^{19}$  であり、残りの基が独立に H、ハロまたは  $C_{1-6}$  アルキルである、請求項 8 記載の化合物。

【請求項 10】

$R^6$  が  $-O-R^{19}$  であり、 $R^{19}$  は  $C_{1-6}$  アルキルであり、残りの基は独立に H、ハロまたは  $C_{1-6}$  アルキルである、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の化合物。

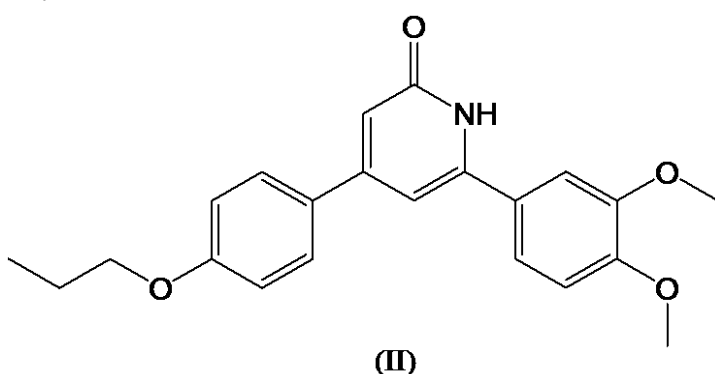
【請求項 11】

各  $C_{1-6}$  アルキルが  $C_{1-4}$  アルキルである請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の化合物。

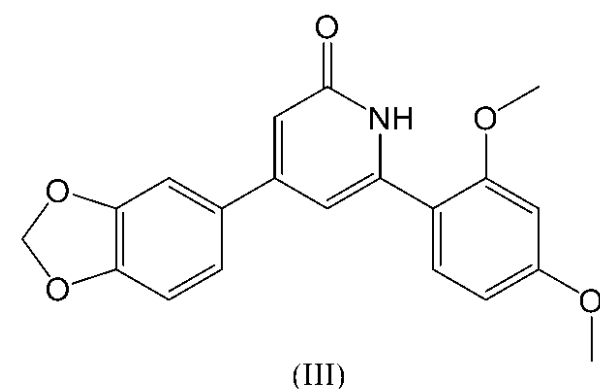
【請求項 12】

前記化合物が

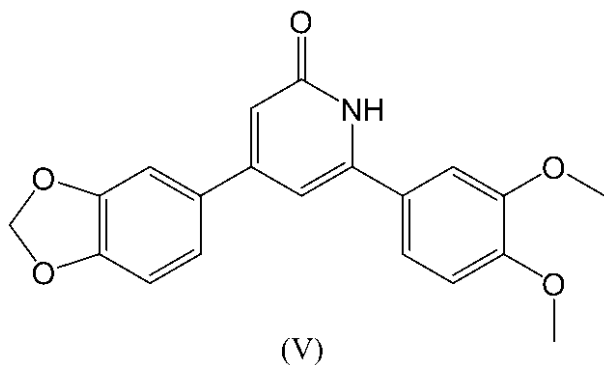
【化 2】



【化 3】

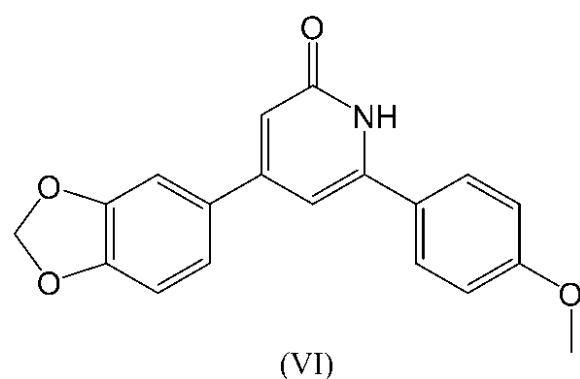


## 【化 4】



または

## 【化 5】

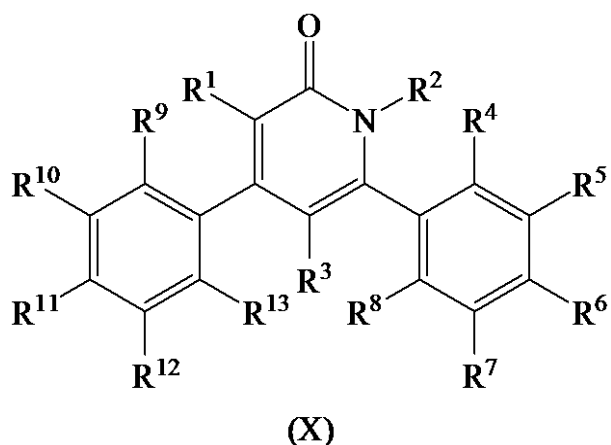


から選択される請求項 1 記載の化合物。

## 【請求項 1 3】

式 (X) :

## 【化 6】



[ 式中、

 $R^1 \sim R^3$  は独立に H または  $C_{1-6}$  アルキルであり； $R^4 \sim R^{13}$  は独立に H、OH、ハロ、 $C_{1-6}$  アルキルまたは  $-O-C_{1-6}$  アルキルであって、 $R^4 \sim R^{13}$  の少なくとも 2 つが OH である ]

を有する細胞毒性化合物またはその製薬的に許容し得る塩またはその溶媒和物。

## 【請求項 1 4】

増殖障害の処置において使用するための請求項 1 ~ 1 3 のいずれかに記載の化合物。

## 【請求項 1 5】

前記増殖障害が癌である、請求項 1 4 に記載の化合物。